

■高効率全閉型電動機の効率値（JIS C 4212）

定格出力 kW	極数	2		4		6		参考
	周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	EPAct
	電圧	200Vまたは400V	220Vまたは440V	200Vまたは400V	220Vまたは440V	200Vまたは400V	220Vまたは440V	4極 60Hz 230Vまたは460V
0.2		70.0	71.0	72.0	74.0	—	—	—
0.4		76.0	77.0	76.0	78.0	73.0	76.0	—
0.75		77.5	78.5	80.5	82.5	78.5	80.0	82.5
1.5		83.0	84.0	82.5	84.0	83.0	84.5	84.0
2.2		84.5	85.5	85.5	87.0	84.5	86.0	87.5
3.7		87.0	87.5	86.0	87.5	86.0	87.0	87.5
5.5		88.0	88.5	88.5	89.5	88.0	89.0	89.5
7.5		88.5	89.0	88.5	89.5	88.5	89.5	89.5
11		90.0	90.2	90.2	91.0	89.5	90.2	91.0
15		90.0	90.2	90.6	91.0	89.5	90.2	91.0
18.5		90.6	91.0	91.7	92.4	91.0	91.7	92.4
22		91.0	91.0	91.7	92.4	91.0	91.7	92.4
30		91.4	91.7	92.4	93.0	91.7	92.4	93.0
37		92.1	92.4	92.4	93.0	91.7	92.4	93.0
45		92.4	92.7	92.7	93.0	92.4	93.0	93.6
55		92.7	93.0	93.3	93.6	93.3	93.6	94.1
75		93.6	93.6	94.1	94.5	93.6	94.1	94.5
90		94.3	94.5	94.1	94.5	93.9	94.1	94.5
110		94.3	94.5	94.1	94.5	94.5	95.0	95.0
132		94.8	95.0	94.5	95.0	94.5	95.0	95.0
160		94.8	95.0	94.8	95.0	94.5	95.0	95.0

注1. 200V60Hzの効率値は規定されていませんが、一般的に220V60Hzに比べ若干低下します。
注2. JIS C 4210の標準モータの特性算定法は、等価回路法ですが、高効率モータ（JIS C 4212）の特性算定法は実負荷法になります。
注3. EPAct高効率の特性算定法は、IEEE std 112 Method Bによります。
注4. 高効率モータは発生損失を抑制しているため標準モータに比べ、一般的に回転速度が速くなります。ポンプや送風機などの負荷で標準モータを高効率モータに置き換えた場合、この回転速度が速くなることにより、モータの出力が増加します。モータ効率は高いのですが、出力が増加することにより消費電力が増加する場合があります。
注5. 高効率モータは発生損失を抑制するために回転子の抵抗を低くしていることから、始動電流が標準モータに対して高くなり、ブレーカーなどの変更が必要になる場合があります。

米国エネルギー政策法

適合番号：043A

(株)日立産機システム 習志野事業所は、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO（国際標準化機構）14001の審査を受け、登録された事業所です。
当事業所では、製品の開発及び製造段階における環境問題に積極的に取り組んでいます。

登録番号：EC97J1095 登録日：平成9年9月30日



EC97J1095 951

(株)日立産機システム 習志野事業所は、本カタログに掲載されているモータの品質保証に関する国際規格ISO（国際標準化機構）9001の審査を受け、登録された事業所です。

登録番号：JQA-1153
登録日：平成8年1月26日

⚠ 安全に関するご注意

（一 般）

- 設置される場所、使用される装置に必要な安全規則を遵守してください。
（労働安全衛生規則、電気設備技術基準、建築基準法 など）
- ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
取扱説明書がお手元にならないときは、お求めの販売店もしくは当社営業部門へご請求ください。
取扱説明書は、必ず最終ご使用になるお客さまのお手元まで届くようにしてください。

（選 定）

- 使用環境および用途に適した商品をお選びください。
- 人員輸送装置や昇降装置に使用される場合は、装置側に安全のための保護装置を設けてください。
- 爆発性雰囲気中では、防爆型モータを使用してください。また、防爆型モータは危険場所に適合した仕様のモータを使用してください。
- 防爆型モータをインバータで駆動する場合、モータとインバータは1:1の組み合わせで認可されています。必ず表示された専用のインバータで運転してください。
また、インバータ本体は非防爆構造ですので、必ず爆発性ガスのない場所に設置してください。
- 400V級インバータでモータを駆動する場合、配線等設置状況により、高いサージ電圧が発生する場合があります。本モータのサージ電圧耐量は、ピーク電圧1250Vです（立上り時間0.1μs以上）。これを越える恐れのある場合は、フィルターやリアクトルをインバータ、モータ間へ設置してください。

環境・省エネに貢献する

 株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

信用と行き届いたサービスの当社へ

本社・営業統括本部 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地（AKSビル） (03) 4345-6041 (ダイヤル)

北海道支社 (011) 611-1224 (ダイヤル)	西東京支社 (042) 660-1078 (代表)	中国支社 (082) 546-6181 (ダイヤル)
東北支社 (022) 364-2710 (代表)	茨城支社 (029) 273-7424 (代表)	山口支社 (0835) 23-7705 (代表)
福島支社 (024) 961-0500 (代表)	北陸支社 (076) 420-5711 (代表)	四国支社 (087) 882-1192 (ダイヤル)
関東支社 (03) 4345-6051 (ダイヤル)	中部支社 (052) 884-5824 (ダイヤル)	九州支社 (092) 651-0141 (ダイヤル)
新潟支社 (025) 274-6914 (代表)	静岡支社 (0545) 55-3260 (代表)	国際営業部 (03) 4345-6063 (ダイヤル)
横浜支社 (045) 540-2731 (代表)	関西支社 (06) 4868-1225 (ダイヤル)	
甲信支社 (0266) 56-6222 (代表)	京滋支社 (075) 661-1081 (代表)	